

NTT 物性科学基礎研究所での滞在

物理学専攻 博士課程 1 年 堀尾眞史

2014 年の 9/1-12 の 2 週間、NTT 物性科学基礎研究所の薄膜材料研究グループに滞在し、山本秀樹グループリーダーと **Krockenberger** 主任研究員のもとで、銅酸化物高温超伝導体の薄膜試料の合成を行った。薄膜材料研究グループでは、薄膜試料の高品質化によって新たに見出された銅酸化物高温超伝導体の電子状態の解明に取り組んでおり、その研究の一環として薄膜合成とその超伝導特性の評価をさせていただいた。今までは測定試料を他研究グループからいただいていたために試料を自分で作るという経験が無かったので、今回の滞在は試料合成を経験するまたとない機会となった。

ALPS のコースワークとしての滞在期間は 2 週間の予定だったが、薄膜合成が順調に進み研究の発展性を感じたため、研究所での滞在を他用務での出張として延長して共同研究を進めている。博士課程を通しての研究テーマに出会う貴重な機会を与えてくださった ALPS 関係者の皆様、藤森先生、そして快く受け入れてくださった山本様、**Krockenberger** 様、NTT 物性科学基礎研究所の薄膜材料研究グループの皆様にご心より感謝申し上げます。